

アフリカと紛争、 そして、平和へのプロセス



© 藤井 2017年ケープタウンにて撮影（アパルトヘイト抵抗運動の記念碑とタウンシップ）

日時：2019年4月19日（金）

14時30分－16時30分 *途中入退場可

場所：宇都宮大学峰キャンパス 4号館
4A31号室

基調報告：細井友裕

東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程/日本学術振興会

2019年3月まで外務省の職員としてアフリカ情勢についての分析業務に従事。

▶ プログラム

ー第1部ー

司会：今野瑞歩（国際4年）、向井侑（国際4年）

基調報告「アパルトヘイト後の南アフリカにおける国家：社会関係と国家建設」

学生コメンテーター：北川瑛（国際3年）、アティラ ナシル（国際2年）

ー第2部ー

学生報告① 横山友輝（国際3年）

「国連平和維持活動にみるリージョナリズムの補完的役割ー中央アフリカ共和国の事例分析ー」

学生報告② 原口愛（国際3年）

「難民の保護の在り方ー難民キャンプに焦点を当ててー」

学生報告③ 井手之上健太（国際3年）

「ワシントン条約における締約国の国内政策への関与拡大に関する考察ー「国内象牙行動計画」を事例にー」

本公開セミナーは、国際学部藤井広重研究室、国際法演習およびUIPJ所属学生の学びの一環として開催されますが、他学部や一般の方の参加も歓迎いたします。先着順とし、参加申し込みは必要ありません。

問い合わせ先：藤井広重 (fujiih@cc.utsunomiya-u.ac.jp)

研究室HP：<https://www.fujiih.com/> UIPJ：<https://profile.ameba.jp/ameba/uipj>